

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	テクニカルドキュメンテーション I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年	教室名	303教室
担 当 教 員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、企画書、設計書などの技術資料、プレゼンテーションなどを多数行っている。			
《授業科目における学習内容》						
各科目で学んだ専門知識をドキュメント化し、インターネット上に公開することを通じて、自ら知識を体系化する能力、および技術を発信する姿勢を獲得・形成する。LTを通じて、他人に簡潔・明快に伝えるテクニックを習得する						
《成績評価の方法と基準》						
課題 70% 年間を通して最低2テーマについてドキュメント化する 出席 20% 平常 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
(参考文献)一生使える見やすい資料のデザイン入門 ※各自特集したい技術についての記述がある文献を参照						
《授業外における学習方法》						
インターネット上のあらゆる技術資料を探し、分かりやすい資料の特徴を掴み、自身がこれから作成するドキュメントに反映させましょう。その為には、授業外の時間を有効に活用し、1つでも多くの文献に目を通すこと。						
《履修に当たっての留意点》						
技術1つを取っても、そこにはあらゆる基礎技術の上に成り立つものがほとんどである。すなわち選択した技術テーマを特集しドキュメント化するためには、これら基礎技術についての知識が必須であることを念頭に作業すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	授業で利用するツールの環境を構築する	PC 参考文献 テキストなど	なし	
		各コマにおける授業予定	授業で利用するツールの導入・設定(1)			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	授業で利用するツールの環境を構築する	PC 参考文献 テキストなど	なし	
		各コマにおける授業予定	授業で利用するツールの導入・設定(2)			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	授業で利用するツールの環境を構築する	PC 参考文献 テキストなど	なし	
		各コマにおける授業予定	授業で利用するツールの導入・設定(3)			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	授業で利用するツールの環境を構築する	PC 参考文献 テキストなど	なし	
		各コマにおける授業予定	授業で利用するツールの導入・設定(4)			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	クラウドツールを利用する上でのセキュリティについて理解する	PC 参考文献 テキストなど	なし	
		各コマにおける授業予定	クラウドツールとセキュリティ(1)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	クラウドツールを利用する上でのセキュリティについて理解する	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	クラウドツールとセキュリティ(2)		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	Officeツール(ワープロ、表計算、プレゼンテーション)の基本を習得する	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	Officeツールの基本(1)		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	Officeツール(ワープロ、表計算、プレゼンテーション)の基本を習得する	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	Officeツールの基本(2)		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	画像制作ツールと素材の取り扱いについて理解・習得する	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	画像制作(1)		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	画像制作ツールと素材の取り扱いについて理解・習得する	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	画像制作(2)		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	著作権と他者の著作物を扱う上での注意点を理解する	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	著作権と著作物の取り扱い方		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	欲しい情報の探し方について理解する	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	情報検索		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿ったプレゼンテーションを組み立てる力をつける	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションスライド作成(1)		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿ったプレゼンテーションを組み立てる力をつける	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションスライド作成(2)		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿ったプレゼンテーションを組み立てる力をつける	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションスライド作成(3)		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	テクニカルドキュメンテーション I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	通年	教室名	303教室
担 当 教 員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、企画書、設計書などの技術資料、プレゼンテーションなどを多数行っている。			
《授業科目における学習内容》						
各科目で学んだ専門知識をドキュメント化し、インターネット上に公開することを通じて、自ら知識を体系化する能力、および技術を発信する姿勢を獲得・形成する。LTを通じて、他人に簡潔・明快に伝えるテクニックを習得する						
《成績評価の方法と基準》						
課題 70% 年間を通して最低2テーマについてドキュメント化する 出席 20% 平常 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
(参考文献)一生使える見やすい資料のデザイン入門 ※各自特集したい技術についての記述がある文献を参照						
《授業外における学習方法》						
インターネット上のあらゆる技術資料を探し、分かりやすい資料の特徴を掴み、自身がこれから作成するドキュメントに反映させましょう。その為には、授業外の時間を有効に活用し、1つでも多くの文献に目を通すこと。						
《履修に当たっての留意点》						
技術1つを取っても、そこにはあらゆる基礎技術の上に成り立つものがほとんどである。すなわち選択した技術テーマを特集しドキュメント化するためには、これら基礎技術についての知識が必須であることを念頭に作業すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿ったプレゼンテーションを組み立てる力をつける	PC 参考文献 テキストなど	なし	
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションスライド作成(4)			
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	自分の考えや意見を他者に発表する力をつける	作成資料など	なし	
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーション実施(1)			
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	自分の考えや意見を他者に発表する力をつける	作成資料など	なし	
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーション実施(2)			
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	開発物管理ツールの使い方を習得する	PC 参考文献 テキストなど	なし	
		各コマにおける授業予定	ソースコード管理ツールの基本(1)			
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	開発物管理ツールの使い方を習得する	PC 参考文献 テキストなど	なし	
		各コマにおける授業予定	ソースコード管理ツールの基本(2)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	webサイトによる情報発信の方法を身につける	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	webサイト構築(1)		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	webサイトによる情報発信の方法を身につける	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	webサイト構築(2)		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	webサイトによる情報発信の方法を身につける	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	webサイト構築(3)		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	webサイトによる情報発信の方法を身につける	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	webサイト構築(4)		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	チームによる開発物の共有管理の方法を習得する	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	チームによる共有管理基本(1)		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	チームによる開発物の共有管理の方法を習得する	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	チームによる共有管理基本(2)		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	開発物の共有管理の実践し習得する	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	チームによる情報共有の実践(1)		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	開発物の共有管理の実践し習得する	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	チームによる情報共有の実践(2)		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	開発物の共有管理の実践し習得する	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	チームによる情報共有の実践(3)		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	開発物の共有管理の実践し習得する	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	チームによる情報共有の実践(4) 前期の振り返り		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	テクニカルドキュメンテーション I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年	教室名	303教室
担 当 教 員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、企画書、設計書などの技術資料、プレゼンテーションなどを多数行っている。			
《授業科目における学習内容》						
各科目で学んだ専門知識をドキュメント化し、インターネット上に公開することを通じて、自ら知識を体系化する能力、および技術を発信する姿勢を獲得・形成する。LTを通じて、他人に簡潔・明快に伝えるテクニックを習得する						
《成績評価の方法と基準》						
課題 70% 年間を通して最低2テーマについてドキュメント化する 出席 20% 平常 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
(参考文献)一生使える見やすい資料のデザイン入門 ※各自特集したい技術についての記述がある文献を参照						
《授業外における学習方法》						
インターネット上のあらゆる技術資料を探し、分かりやすい資料の特徴を掴み、自身がこれから作成するドキュメントに反映させましょう。その為には、授業外の時間を有効に活用し、1つでも多くの文献に目を通すこと。						
《履修に当たっての留意点》						
技術1つを取っても、そこにはあらゆる基礎技術の上に成り立つものがほとんどである。すなわち選択した技術テーマを特集しドキュメント化するためには、これら基礎技術についての知識が必須であることを念頭に作業すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象とするビジネステーマとチーム編成	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと	
		各コマにおける授業予定	ビジネステーマ選定とチーム構築(1)			
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象とするビジネステーマとチーム編成	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと	
		各コマにおける授業予定	ビジネステーマ選定とチーム構築(2)			
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象とするビジネステーマとチーム編成	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと	
		各コマにおける授業予定	ビジネステーマ選定とチーム構築(3)			
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象とするビジネステーマとチーム編成	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと	
		各コマにおける授業予定	ビジネステーマ選定とチーム構築(4)			
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと	
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(1)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習 の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(2)		
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(3)		
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(4)		
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(5)		
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(6)		
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(7)		
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(8)		
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(9)		
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	他者の発表内容を自身の知識として吸収すること
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(10)		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランを発表しクラス内でフィードバックを行う	PC 参考文献 テキストなど	他者の発表内容を自身の知識として吸収すること
		各コマにおける授業予定	中間発表(1)		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	テクニカルドキュメンテーション I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年	教室名	303教室
担 当 教 員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、企画書、設計書などの技術資料、プレゼンテーションなどを多数行っている。			
《授業科目における学習内容》						
各科目で学んだ専門知識をドキュメント化し、インターネット上に公開することを通じて、自ら知識を体系化する能力、および技術を発信する姿勢を獲得・形成する。LTを通じて、他人に簡潔・明快に伝えるテクニックを習得する						
《成績評価の方法と基準》						
課題 70% 年間を通して最低2テーマについてドキュメント化する 出席 20% 平常 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
(参考文献)一生使える見やすい資料のデザイン入門 ※各自特集したい技術についての記述がある文献を参照						
《授業外における学習方法》						
インターネット上のあらゆる技術資料を探し、分かりやすい資料の特徴を掴み、自身がこれから作成するドキュメントに反映させましょう。その為には、授業外の時間を有効に活用し、1つでも多くの文献に目を通すこと。						
《履修に当たっての留意点》						
技術1つを取っても、そこにはあらゆる基礎技術の上に成り立つものがほとんどである。すなわち選択した技術テーマを特集しドキュメント化するためには、これら基礎技術についての知識が必須であることを念頭に作業すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第46回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランを発表しクラス内でフィードバックを行う	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと	
		各コマにおける授業予定	中間発表(2)			
第47回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと	
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(11)			
第48回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと	
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(12)			
第49回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと	
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(13)			
第50回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと	
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(14)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第51回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(15)		
第52回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(16)		
第53回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(17)		
第54回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(18)		
第55回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(19)		
第56回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランの具体化を推進する	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(20)		
第57回	実習形式	授業を通じての到達目標	自分のビジネスプランを他者に伝える力をつける	作成資料など	他者の発表内容を自身の知識として吸収すること
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーション実施(1)		
第58回	実習形式	授業を通じての到達目標	自分のビジネスプランを他者に伝える力をつける	作成資料など	他者の発表内容を自身の知識として吸収すること
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーション実施(2)		
第59回	実習形式	授業を通じての到達目標	一年間の活動を振り返り、自身の成長を確認する	作成資料など	なし
		各コマにおける授業予定	一年間の振り返り(1)		
第60回	実習形式	授業を通じての到達目標	一年間の活動を振り返り、自身の成長を確認する	作成資料など	なし
		各コマにおける授業予定	一年間の振り返り(2)		